

第5回 理科サロン

薬はどのようにして見つかったか？



元ファイザー製薬研究所長

北浦良彦 氏

今回は、クスリの話です。我々の日常生活の中で、解熱・鎮痛・癌・感染症・栄養補給・外傷・心の病・等々、クスリは欠かせぬものとなっています。クスリがなければ今のように平均寿命は延びなかったでしょう。では、そのクスリはどのようにして見つかったのでしょうか？偶然に見つかったもの、探し回って見つかったもの、良いと思っても逆に害になったもの...。昔から不老長寿のクスリを探し求めた殿様の話は多数ありますが、今の製薬会社はどのようにして薬効の良い安全なクスリを見付けてくるのでしょうか？

世界一の製薬会社ファイザー製薬の研究所長を永年勤められた北浦良彦さんに、「クスリはどのようにして見つかったか」という題で話して頂きます。北浦さんは、要職を永年勤めたにもかかわらず、ニコニコとした笑顔の似合う気さくな方ですので、日頃クスリについて疑問に思っていること、興味を持っていることをどしどし質問して下さい。午後6時～6時半は夕食の時間を設けています。この間に気楽に談笑していただけます。

日時：1月22日（金）

午後6時～8時 講演会

午後6時半までは北浦さん
を囲んで夕食

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37

(電話 06-6857-2562)

参加費：無料

